



# 医療人能力開発センター & 医学教育センター

## Wind

## News letter No.40

No.1-39は「GUNMAS」およびHPに掲載しています

医療人能力開発センターホームページ

<http://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

こちらから入って各部門をクリックしてご覧ください。



2014.12.18 No.40

医療人能力開発センター

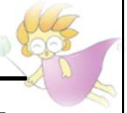
臨床研修センター/スキルラボ部門  
女性医師等教育・支援部門  
看護職キャリア開発センター(仮)  
地域医療支援センター(群馬県)

内線 7736 E-mail: [c-center@ml.gunma-u.ac.jp](mailto:c-center@ml.gunma-u.ac.jp)

医学教育センター

内線 8017

E-mail: [cme.gunma.univ@gmail.com](mailto:cme.gunma.univ@gmail.com)



## 研修医症例発表会 受賞者と指導医から

平成26年9月26日(金)

### 病院長賞を受賞して 初期臨床研修医 1年目 澤田 達宏

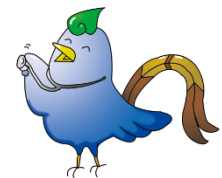
今回発表した症例は、私が研修を始めた4月に担当した症例でした。医師になっただけで戸惑うことも多々ありましたが、指導医である前野先生や原先生、山口先生をはじめとした先生方のアットホームな雰囲気と丁寧な指導により、良い研修のスタートを切ることができました。本例は鑑別診断の難しい症例でしたが、治療により症状が改善し、自分にとって非常に印象深い症例になりました。

研修医になってから半年が経ちましたが、大学病院での研修を選んで良かったと日に日に実感しています。各診療科でも本例のような複雑な病態を呈する症例に遭遇することがありますが、いずれの診療科でも先生方からきめ細かい指導を受けながら、患者さんの診療に当たることができています。一人ひとりの患者さんの病態を深く考えながら研修を行っていることが将来的に医師としての実力の向上に繋がると信じています。

最後になりますが、本例の発表にあたり、ご指導を頂いた呼吸器内科(2)の先生方にこの場を借りて改めて御礼申し上げます。



左側が澤田先生、  
右側が指導医の前野先生



### 医学部長賞を受賞して

初期臨床研修歯科医 2年目 高橋 紗也子



右側が高橋先生、  
左側が指導医の小杉先生

この度は、医学部長賞という栄誉ある賞をいただきましてありがとうございます。これもご指導いただいた先生方のおかげと感謝しております。

今回の茎状突起過長症の症例報告にあたり、臨床症状や手術手技など本当に様々なことについて勉強することができました。また、患者さん一人ひとりに合わせた治療方針を選択する重要性について学ぶことができました。

研修医症例発表会を通して経験した症例を振り返り学ぶことができました。また、他科の貴重な症例を知ることができる勉強の場にもなりました。このような機会をつくってくださった臨床研修センターの方々ありがとうございました。

最後に横尾教授、清水先生をはじめ、歯科口腔・顎顔面外科の先生方には熱意あるご指導をしていただきました。改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

## ベスト指導医賞を受賞して 呼吸器・アレルギー内科 前野 敏孝

この度は、平成26年度の研修医症例発表会にて名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。

今回提示させて頂きました症例は、最初は神経内科に受診し、呼吸器外科での外科的生検にて診断でき、その後当科で治療させて頂いた症例です。結果的には当科で発表させて頂きましたが、この症例の診断と治療は、様々な診療科の密接な連携の上で可能になったものであり、まさに群馬大学ならではの症例だと考えております。

澤田先生にとっては、医師としてのスタートを切ったばかりの4月に担当した症例だったかと思いますが、日々しっかりと丁寧に患者さんと向き合いながら、検査と治療を進めていました。今回の澤田先生の受賞は、その医師としての姿勢・情熱の賜物だと思います。澤田先生には、今の気持ちを持ち続けながら、さらに飛躍していただきたいと願っております。

また、この度このような名誉ある賞をいただきましたが、これは決して私個人の指導の力ではありません。日々、熱心に研修医の指導に取り組んでいる山口公一先生・山口彩先生・原先生・青木先生の指導力の結果だと思いますし、さらには現場の中で、指導医と共に真摯に臨床に向き合っている鈴木先生・内田先生を加えたすべてのメンバーが、チーム呼吸器内科として医療に取り組んでいることの結晶だと考えております。

呼吸器内科では、肺癌などの腫瘍性疾患・（抗酸菌症・真菌症を含めた）感染症・（様々な原因による）間質性肺炎・アレルギー疾患・COPD・睡眠時無呼吸症候群など非常に多彩な疾患の診療を行っています。そのため私たちは、患者さん本位に、肺だけではなく総合的な視点で日々の診断と治療に取り組んでおります。

皆さん、是非、呼吸器・アレルギー内科で研修してみませんか。共に、明日の群馬の医療のために歩んで行きましょう。



## ベスト診療科賞を受賞して 循環器内科 高間 典明

今回平成26年度の研修医症例発表会にてベスト診療科賞をいただきました循環器内科を代表して、一言申し述べたいと思います。ご存知の方もいるかと思いますが、平成25年度には第二内科としてベスト診療科賞をいただいており、2年連続の受賞となります。以前は、こういった賞とは縁遠い診療科でありました。しかしながら、徐々に雰囲気も変わり、研修医を温かく迎え、厳しく指導する体制が整ってきたと自負しております。研修医の先生にとって病棟での実習は、今後の医師生活を左右する大切な経験です。当科では急性心筋梗塞などの急性期疾患や心不全などの慢性期疾患まで幅広く対応しており、もちろん不幸な転機をたどる患者さんもいます。そんな患者様たちに対して親身に対応し、最善の治療を探していくことをモットーに日々頑張っております。

研修医の皆さんにとって、当科のイメージは多分、忙しくて、入退院も多くてサマリーがたくさんたまるということだと思います。しかし、研修医指導にもかなり力を入れており、多くの症例を経験できることで、内科学会地方会や循環器学会地方会への発表を積極的に行い、可能な限り論文にすることも行っています。こういった忙しい環境を嫌う先生も多いようで入局してくださる先生はまだまだ十分ではありません（私が入局したときは17名同期入局者がいました）。今後一緒に日々研鑽を積んで行ける仲間を随時募集中です。

最後に、来年もベスト診療科賞をいただき3連覇できるよう頑張ってまいりたいと考えております。発表してくれた研修医の皆さん、本当にご苦労様でした。



写真は当日賞状を受けとられた金古善明先生

11月14日（金）に、ぐんまレジデントグランプリ2014が開催されました。

この催しは、群馬県内で臨床研修に励んでいる研修医の皆さんが、後輩(医学生)に伝えたい日頃の研修の様子や貴重な経験（症例）を発表し、参加した医学生の皆さんの投票で**最優秀発表者（レジデントグランプリ）**を決定するイベントです。

2011年度から開催されていますが、昨年度からは本学医学科5年生の臨床実習カリキュラムのひとつとして、金曜日の夕方に開催しています。

今年は、県内の12の臨床研修病院（群馬大学・前橋赤十字・伊勢崎市民・公立藤岡・公立富岡・桐生厚生・館林厚生・前橋協立・済生会前橋・大田記念・日高）の代表がグランプリ目指して発表を行い、105名の医学生の皆さんにご参加いただきました。発表も参加した学生の皆さんからの質問も、非常に充実した内容でした。投票と審査の結果、グランプリには公立富岡総合病院・星野順記先生が選ばれ、当院代表の澤田達宏先生は堂々の3位でした！参加してくださった皆様、大変ありがとうございました。



ぐんまレジデントグランプリでは、群馬県の研修医を増やすことを目的として、県内の臨床研修病院の研修医が経験した症例と研修の特徴を発表します。医学科5年生を中心に多くの医学生が参加し、当日は大いに盛り上がりました。

今回、群大病院からは私が第4回研修医症例発表会で発表した内容を基に、症例発表と当院の臨床研修の特徴についてお話をさせていただきました。このグランプリでは、学生が投票権を持つため、コントや寸劇などを用いた

プレゼンを行った病院もありましたが、私は群大病院の代表として学術的な内容を中心に当院の研修の魅力についてプレゼンさせていただきました。結果は3位と残念ではありましたが、学生には少し難しく感じてしまったかもしれません。しかし、あくまで学術的な症例で勝負するという当院の姿勢を示すことができたと思っています。

今年度は群馬県全体の研修医が9年ぶりに100人を突破し、県内の研修医は以前よりも増えつつあります。今後もこうした流れを維持するためにも、我々研修医が楽しく研修を行い、実力を付けていくことを学生にも示していくことが大切だと思います。（初期研修医1年目 澤田 達宏）



## 「臨床医のための統計セミナー」開催します！！

臨床医のための統計セミナー「これだけは知っておきたい臨床統計」を2015年1月10日（土）に開催します。研究デザイン名・統計学的検出力・サンプルサイズ・検定の解釈・図表の読み方など、臨床研究論文を読むための基礎を解説する、という内容です。大勢の先生方の参加をお待ちしております。

- 開催日時：2015年1月10日（土） 14：30～16：00
- 講師：群馬大学大学院保健学研究科 林 邦彦 教授
- 開催場所：臨床中講堂

お申し込みは、12月末までにメールにてお願いいたします。配布資料を準備する都合より、事前申し込み制とさせていただきます。

\*本セミナーは、「群馬県医師会」および「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の共催です。

統計セミナーに関するお問い合わせ・お申込み  
医学教育センター 井手野  
E-mail:cme.gunma.univ@gmail.com

## 医学科FDが開催されました

2014年12月6日（土）

平成26年12月6日(土)に、毎年恒例の医学教育教授法ワークショップ（医学科FD）が開催されました。第一部では、授業向上委員会を代表して医学科4年生の遠藤梓さんから、学生による授業アンケートの集計結果に基づいて、授業に対する学生の意見の発表がありました。その後、授業アンケートで高評価を得た3名の先生方に模擬授業を披露していただきました。

模擬授業後、これら3名の先生方は、本年度のベストティーチャー石井賞受賞者に選出され、それぞれに医学部長から表彰状と副賞が授与されました。受賞者の先生方、おめでとうございます。

第二部では「信州大学の『150通りの選択肢からなる参加型臨床実習』とそれに伴うカリキュラム変更上の問題点」と題して、信州大学 医学教育センター長・教授の多田剛先生にご講演いただきました。診療参加型臨床実習を導入するための、組織やカリキュラム作り、また実習協力病院との連携体制の構築について、信州大学でのご経験を率直にお話しいただきました。

本学医学科でも、来年度から診療参加型臨床実習が本格的に導入される予定です。臨床の現場で学生指導にあたる先生方のご指導が実践的な学びとなります。診療、研究、教育と忙しい毎日と存じますが、近い将来共に医療を支える仲間となる学生達へのご指導をよろしくお願いいたします。また、臨床実習の改変にあたっては、病棟スタッフの皆様にも戸惑いがあるかもしれませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。（医学教育センター 岸 美紀子）



左より、和泉医学研究科長、平戸先生、高鶴先生、茂木先生、小山教務部会長

おめでとうございます。平成26年度ベストティーチャー石井賞受賞者

- ◆2年生「応用生理学」 応用生理学 助教 高鶴 裕介先生
- ◆4年生「皮膚結合組織疾患」 皮膚科学 講師 茂木 精一郎先生
- ◆4年生「脳神経外科」 脳神経外科学 准教授 平戸 政史先生

### 編集後記 (2014.12.18)

研修医症例発表会、レジデントグランプリと大変盛り上がりました。皆様、ご協力ありがとうございました。医学科FDに参加し、6年前にベストティーチャーをいただいたときの、最高に緊張したプレゼンを思い出しました。今思うと、あのころのプレゼンもスライドも未熟な限りでしたが、まだ進化しているのかも良い方向に考えます。今年もあとわずか、ラストスパートです。